

秋を感じながら…

緊急事態宣言の最中に始まった第2学期。感染予防のためクラス間交流も避け、子どもたちが考えを出し合い、力を合わせて作り上げる運動会は第3学期へと持ち越しました。

そのかわりに、さわやかな秋風を感じながら何度も園外散歩へ。クラスの友達と一緒に、様々な発見を楽しみ、気付いたことをたくさん伝え合いました。

秋の自然の中で、日差しや風の心地よさを感じながら、様々な小さな命に触れ“命の学び”をたくさんしました。





月曜日、なぜか園庭に大きなキノコが出現！

毒キノコじゃないの？
触っちゃダメだよ。
おにいちゃんがいつて
たよ。



子どもたちに見せてあげたいと思っていた教師の気持ちをよそに、調べてみたら本当に毒キノコ。これは大変と、すぐに取り除きました。

いざ、園外散歩へ





イヌタデ(アカマンマ)、群生しているときれいですね。
ままごと遊びのご飯にもなるんです。



おんぶバッタ、発見！



稲穂も黄金色になってきました。



羽化したばかりの蝶でしょうか。それとも少し傷があったのでしょうか？
大きく羽を広げてもなかなか上手に飛ぶことができません。
すると、どこからともなく「がんばれ！」の小さな声が...

見て！少しでも
飛んだよ。



羽を広げ一生懸命に前に進むとする蝶の姿を
優しい声で何度も何度も応援していました。



いいもの見~つけた!





途中で見つけたネコジャラシ。「親指できゅっきゅって押すと、動くんだよ。」と、やって見せてくれました。毛虫みたいだね。



あそこ見て！
なんか変だよ。

さて、年少組は…



渦巻きになってるね。
何でだろう？

高架下で、風に倒された稲穂を見つけ、
ここが風の通り道であることを学びました。

あれ見て！
人みたいだよ！





近頃では、なかなか見ることのできない“案山子(かかし)”
鳥よけのために立っているんだね。
稲穂も色付いてきたよ。もうすぐ収穫かな？

ぼくが採ってあげるよ！



バツタを捕まえた瞬間！



早くふたを開けて！

え～、怖いんだけど。

ばたばた動くバッタを手に友達に声をかける男の子。
ちょっと虫の苦手な女の子。力を合わせて虫籠の中に入れられるかな？



今度は私がやってみるね。

友達と力を合わせて夢中になって取り組んだ虫取り。
何度も逃げられちゃったけど、何度も挑戦していたね。
捕まえたバッタは、幼稚園に持ち帰り、毎日大切に世話をしました。



保育室では...

虫メガネや図鑑を手にとってすぐに観察できるよう環境を整えています。



さて、幼稚園の畑でも…

ダンゴムシが大好きな子どもたち。
「ちょっと手伝って！」と声をかけながら、重たいタイヤをどかします。
本当にいるのかな？



よし、もう少しだ！

力を合わせて踏ん張ります。



ほら、いたよ。
たくさん出てきた。

“ダンゴムシ”がどんなところを好むのか、経験の中で生態を学んでいます。飼育ケースの中には、砂が入っていましたが…。乾いた砂で大丈夫かな？保育室に戻って、図鑑を見ながら、ダンゴムシの住みやすい家作りに取り組んだようです。



下中の豊かな自然の中で、子どもたちは全身を使って季節の移り変わりを楽しみながら、クラスの友達と伝え合い、気付き合い、様々な挑戦をしています。

今度はどんな発見があるかな？

